

一般社団法人真岡青年会議所 2026年度委員会事業計画

未来創造委員会

委員長 高田紀子

<p>委員会設置背景</p>	<p>SNSやインターネットの発展により直接的に感情を伝え合う機会が減少し、他者の気持ちを読み取り自らの思いを伝える力が低下しています。地域の子どもが対面で感謝を直接伝える環境づくりが必要です。 また、LOMを代表する事業である芳賀教育美術展は今年で40回目の節目を迎えます。これまでの歴史の中で県東地域の子どもに「創造美育」という地域に根ざした芸術文化の振興を目指して邁進してきました。多くの情報を得られるようになった反面、他者の表現に触れ、お互いを理解し合える経験の場が必要です。</p>
<p>委員会設置目的</p>	<p>デジタル化が進む時代においても、子どもが相手の思いや行動を理解し、対面で気持ちを伝え合う力を高めることを目的とします。 また、芳賀教育美術展を通じて子どもの創造力を高めると共に、互いを認め合い尊重し合う力を育むことを目的とします。</p>
<p>運動手法</p>	<p>・4月第一例会 子どもの感情表現力を高めるために、他者とふれあいを通し思いやりの心を育てることで、深い信頼関係の中で気持ちを伝え合い、より良い人間関係を築くことができます。</p> <p>・9月第一例会 子どもの創造力を高めるために、第40回芳賀教育美術展覧会を実施し、より多くの人に評価してもらうことで、自信と表現力を育み感情表現をより豊かにすることができます。</p> <p>・10月第一例会 子どもの自己肯定感を高めるために、第40回芳賀教育美術展表彰式を実施し、県東地域に根付いた「創造美育」の文化を継承します。またメンバーは40年の伝統に感謝しつつ、地域に波及し輝ける明日への一歩を踏み出すことができます。</p>
<p>1年後の効果</p>	<p>子どもは他者と共働き、互いを認め合う中で、相手の気持ちを理解し、感情表現や挨拶・感謝が自発的にできるようになり、豊かな人間関係づくりを実現します。また、地域の子どもの自由な表現力を継続的に伸ばすための地域環境を整備し、相手の思いや表現に触れ、共感の渦を生み出し、持続可能な育成の場を創出を実現します。さらに子どもの笑顔や家族愛に触れたメンバーは、利他の精神を学び実践する中でメンバー間の結束力が高まり、人の気持ちを理解し合える真岡青年会議所を実現します。</p>